

# おおわし

新潟市立大鷲小学校 住所 新潟市南区東笠巻 1202  
 電話 025-362-5431 ファックス 025-362-5554  
 E-mail e607owashi01@city-niigata.ed.jp  
 ホームページ http://www.owashi.niigata-city.ed.jp/

## 「大鷲っ子」

校長 柴澤明子

「大鷲っ子」…とても親しみやすく、子どもたちに語り掛ける時に使っています。この呼び方がいつから始まったのか、私も知りません。しかし、この呼び方をする時には、何か思いや願いがあると感じています。3月の全校朝会でこんな話をしました。

休み時間になると、大鷲では全学年が一緒になってドッジボールをしています。校長先生はあるお友達にこう質問しました。

「このドッジボールに入れてもらうにはどうしたらいいの？」

そのお友達はこう答えました。

「誰でも入りたい時に自由に入れるよ。」

この言葉を聞いて、校長先生はびっくりしました。

これまでいろいろな場所で見てきたドッジボールは、「入れて」とお願いをして、「いいよ」と言ってもらえないと入れなかったからです。チームの人数をそろえなければいけなかったし、時には「だめ」と言われて入れてもらえず、泣いてしまう子もいました。

大鷲の子どもたちは、ドッジボールを全校のみんなで楽しむ方法を知っているのです。それは、「大鷲っ子」が、ずっと引き継いできた大切な遊び方なのでしょう。



…そっか。校長先生は気が付きました。

“全校の子どもたちみんなが「なかま」そういう気持ちを込めた言葉が「大鷲っ子」なのですね。

全校朝会では、もう一つ、「より良い自分になろう」とみんなが努力をしている時、そういう子どもたちを見て、「大鷲っ子」と呼んでいる例を話しました。

大鷲の子どもたちを「大鷲っ子」と呼ぶ時、そこには大鷲の子であることを誇りに思っ  
てほしいという願いがあります。だからこそ、今年度最後の全校朝会で6年生に伝えま  
した。「たとえこの学校を卒業しても、そして、たった一人である時でも、『大鷲っ子』とし  
ての誇りをもち、『大鷲っ子』として、より立派な人になるよう努力を続けてください」  
と。

さて、「笑顔と一生懸命がいっぱいの大鷲小学校」を目標に取り組んできた一年が終わろ  
うとしています。常に大鷲っ子を、大鷲小学校を、温かく見守ってくださいました保護者  
地域の皆様のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

- 88名の「大鷲っ子」との出会いに、保護者地域の皆様との出会いに感謝いたします -

## 「ありがとう！6年生のみなさん！ - 6年生を送る会

2月28日（金）に『6年生を送る会』を行いました。6年生の卒業をお祝いする気持ちがたくさんあふれた会でした。1年生からはダンスのプレゼント。2年生からは会場の飾り付けと縦割り班メッセージカード。3年生は「6年生クイズ」。4年生は5年生とともに会の進行のお手伝いして、高学年になる準備をしていました。5年生は、会全体の運営や6年生、への感謝の言葉をたくさん伝えていました。



「VS 6年生！」というゲームでは、1～5年が6年生とさまざまなゲームで対戦しました。さすが6年生！ほぼすべてのゲームで6年生が勝ちました。大鷲小学校のリーダーとして全校を引っ張ってきた6年生。この会で6年生へ感謝の気持ちを表せました。参観に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

## 子ども見守り隊への感謝の会

3月1日（水）に全校朝会終了後に「子ども見守り隊の方々への感謝の会」を行いました。子どもたちの登下校時の、安全を見守ってくださっている皆さんから学校にお越しいただき、日頃の感謝の気持ちを伝えました。6年生の渡辺奏汰さんがみんなを代表して、「感謝の言葉」を述べました。



今年度も子どもたちは安全に登校することができました。鳥羽駐在さんからは、「大鷲小学校のみなさんは登校マナーが上手にできています。」と褒めていただきました。今後も安全に登校できるようにおうちでも声掛けをお願いします。

## 【4月の行事予定】

- |        |  |                                 |
|--------|--|---------------------------------|
| 8日（月）  | 着任式、1学期始業式、下校  | 新2～4年 11:20頃<br>新5、6年 12:00頃    |
| 9日（火）  | 入学式  | 下校 新2～4年 10:50頃<br>新5、6年 11:30頃 |
| 10日（水） | 給食開始（1年生は15日（月）から給食開始）<br>交通安全指導（17日（水）まで）<br>1年下校指導 |                                 |
| 11日（木） | 視力・聴力検査（下学年）   | 1年下校指導 委員会活動（5、6年）              |
| 12日（金） | 視力・聴力検査（上学年）   | 1年下校指導                          |
| 15日（月） | 1年生給食開始 非常ベル訓練<br>地域子ども会（新編成での確認）、集団下校（下校 14:05頃）    |                                 |
| 16日（火） | 発育測定（下学年）  | 新縦割清掃活動開始                       |
| 17日（水） | 発育測定（上学年）  |                                 |
| 18日（木） | 地域巡視のため全校5限授業（下校 14:30頃）                             | 6年全国学力テスト（国・算）<br>発育測定（上学年）     |
| 19日（金） | 地域巡視のため全校5限授業（下校 14:30頃）                             | 1年生を迎える会                        |
| 26日（金） | 学習参観日 PTA総会 学年懇談会<br>体育着販売 11:30-12:00               |                                 |



令和5年度の大鷲小学校の「教育の重点」及び「各部の評価」についてお伝えいたします。

## ◆まなび部会（研究主任：栗山貴子）

今年度まなび部会では、「学びを深め『分かる』『できる』をより実感できる子ども」の姿にするための授業過程を研究しました。アウトプットを意識し、ICTを活用した手立ての工夫を心掛けてきました。その成果と課題についてお伝えします。



### 【学びの深まりを実感できる授業づくり】

子どもたちが単元の最後まで「追求し」そして、「わかる」「できる」と実感できる学習となるように、単元をデザインしてきました。一人一人が課題と向き合い、ペアやグループ、学級全体でかわりを通して学ぶ姿が見られました。友達に伝える、友達と考える、友達から学ぶ、学習を振り返る、を通して「わかる」「できる」を実感し、学びを深めることができました。

### 【アウトプットを意識したICTを活用】

各教科でiPadの効果的な活用法を模索し、活用の幅をより広げました。ロイロノートの回答共有を使った話し合い、「共有ノート」機能を使用した考えの自由閲覧、Keynote等を活用して作成した教材やプリントを使った授業、カメラやビデオ、アプリ、YouTube動画、教材集等を活用した授業など、iPadを通してアウトプットしながら、学習に生かす姿が様々な場面で見られました。「職員アンケート」より



質問項目	R5大鷲小
学びの深まりを実感した子ども	100%
ICTでアウトプットを意識した研修授業など、研修が自身の「授業力向上に役立った」と回答する割合	100%

## ◆こころ部（生活指導主任：佐藤美由希）

### ☆あいさついっぱい、やさしさいっぱいの大鷲小学校

#### ① いつでも誰とでもあいさつをかわそう



よりよいコミュニケーションのためのあいさつができるよう「相手の目を見てあいさつをする」「はきはきした声であいさつをする」ことができるように意識付けました。全校の95.6%の児童が、「相手の目を見てあいさつしている」と答え、96%の児童が「はきはきした声であいさつしている」と答えています。



#### ② お互いのよさを認め合う場を



学級や他学年の友だちに「グッジョブメッセージ」を送る活動や友達に感謝の気持ちを伝える「ありがとうゆうびん」の活動を行いました。「すごいね、頑張っているね」「手伝ってくれて）ありがとう」など、具体的な言葉にすることで自分のよさや友だちのよさを実感できました。アンケートでは、

○友だちのよさを見つけている・・・92.0%

○自分にはよいところがある・・・84.0%

この結果から、互いに認め合える風土が醸成されていることが分かります。来年度は、自分のよいところに更に自信がもてるように取り組んでいきます。



## ◆特別支援教育推進部（特別支援教育コーディネーター：若杉水緒）

### ☆子どもに寄り添った支援を☆

#### 子どもの困り感

文章はどうやって書けばいいのかな…  
なんだかイライラするけどどうしたらいいの？

なぜ言われた通りに  
できないのだろう…

怒ったり泣いたりして  
どうしたのだろう…



困っているけれど言葉で上手に伝えられない

例えば…  
読むのが苦手  
⇒テストをルビ付きにする。  
活動の見通しがもちにくい

子どもの困り感を軽減させるためには早めの対応が重要！

#### 合理的配慮を行ってきました。

- ・その子の状況に応じて、個別の配慮や個に特化した指導を心掛けて。
- ・特別支援学級（すまいる学級）だけでなく、通常の学級での学習も。

**個別の指導計画の作成** 一人一人に合った配慮について計画を立て、それに基づき支援しました。

**複数の職員での支援** 複数の職員でつまずきの原因を探り、お子さんのための支援方法を考えました。

**保護者との情報交換** 保護者と担任・特別支援コーディネーターが面談を行い家庭と学校が連携しました。

**理解教育の推進** ちがいを理解し、互いを認め合う、多様性をテーマにした指導を行いました。

## ◆元気ジャンプアップ部（体育主任：岡部智之）

子どもの健康な体づくりと、体力の向上を目指して、以下の2つの取組を進めてきました。

### 【元気チェックで健康アップ】

年3回の元気チェック週間や保健指導を通して、子どもが自分自身の体の健康に目を向け、よりよい生活習慣を身に付けられるよう取り組みました。今年度は、全校の全項目平均が81.1%の達成率で、目標としていた80%を超えました。しかし「就寝」と「メディア」にかかわる項目が、下降傾向にありましたので、今後も、ご家庭で意識して取り組んでほしいと思います。

《元気チェック結果》	6月	11月	2月
寝る時刻は遅くなっていないか	80.3%	84.9%	77.8%
テレビやゲームをする時間を意識しているか	75.5%	75.8%	72.3%



### 【楽しく動いて体力アップ】

夏に行った体力テストの結果から、大鷲小学校の子ども達の課題は、「持久力」「握力」「腹筋力」であることが分かりました。その力を高めるために、授業改善と日常的な取組を継続して行いました。授業で最も大切にしてきたのが、運動量の確保です。授業中に子どもが常に様々な運動メニューをテンポよく行えるよう、教職員で確認徹底してきました。子どもたちは常に進んで新しい運動にもチャレンジする意欲的な子どもたちに育っています。また日常的に、運動の場を提供し、子どもが自発的に体を動かせるようにしてきました。特に、休み時間にボール運動ができるようにしたことで、学年を問わず、とても多くの子どもが体育館に集いました。1年生から6年生までが一緒にコートに入り、笑顔でドッジボールを楽しむ姿は、全校仲良しの大鷲小ならではの光景だと感じました。